

報告書抄録

ふりがな	りゅうほしじょういせき・いけのしりいせき							
書名	竜法師城遺跡・池ノ尻遺跡							
シリーズ名	県道柑子塩野線緊急地方道路整備事業に伴う発掘調査報告書							
編著者名	細川修平 堀真人							
編集機関	滋賀県教育委員会事務局文化財保護課 財団法人滋賀県文化財保護協会							
所在地	滋賀県大津市京町4丁目1番1号 滋賀県大津市瀬田南大萱町1732-2							
発行年月日	平成18年（2006年）3月							
ふりがな 所収遺跡	ふりがな 所在地	コード		世界測地系		調査面積	調査期間	調査原因
		市町村	遺跡番号	北緯	東経			
りゅうほしじょう 竜法師城 いせき 遺跡	こうかし 甲賀市 こうなんちょう 甲南町 りゅうほし 竜法師	366	021	34° 54' 38"	136° 10' 08"	2,000㎡	20030902 } 20040218	県道柑子塩野線緊急地方道路整備事業
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物		特記事項	
竜法師城 遺跡	山城	室町	堀・曲輪・土坑・ 土器投棄土坑		土師皿・信楽・ 皇宋通宝			
	その他	江戸	水溜遺構・溝・畑？		信楽			
要 約	<p>今回の発掘調査では、16世紀後半と18世紀後半の2時期の遺構が確認されている。</p> <p>16世紀後半に竜法師城が築造された時期の遺構としては(堀1)・(土塁1)・(下層平坦面1)・(平坦面2)・(下層平坦面3)を主にあげることができる。(堀1)はおおよそ40mの規格の「コ」の字型を呈しており、部分的に平坦面(曲輪)に接続する通路を連結させている。(下層平坦面3)は標高207m付近に位置し、明確な平坦面としては最高所であり、東側に大きく眺望が開け、城の特徴を端的に示している地点とすることができる。また、この(下層平坦面3)を見下ろす(土塁1)上の地点で大量の土器を投棄した土坑が検出されている。</p> <p>18世紀後半の遺構としては、(上層平坦面1)・(上層平坦面3)をあげることができる。これらの上層の遺構群形成時には大きな地形改変が行われたことが確認でき、現状の地形はこの時期に由来していることが判明している。遺構としては、水溜や畑作地と推定できる遺構が検出されている。</p> <p>最後に今回の調査では、竜法師城築城期の遺構群中でも(下層平坦面3)や(土塁1)に代表される、柚川一帯が俯瞰できる眺望の良さを改めて確認することができ、同じ城域を調査した第2名神高速道路調査区の谷側を向いた視界との相違がより鮮明になったことを指摘しておきたい。この内を向く第2名神調査区と外を向く県道調査区、この2点の特徴が竜法師城を築造させた理由であり、存在意義であったと考えられる。</p>							